

# 宮城県林業普及活動情報

2025. 1月号 No. 200

## もくじ

### 各地の林業普及活動情報

P 2～6

- 森林経営管理制度に係る圏域推進会議の開催 (大河原地方振興事務所)
- R6市町村伴走支援(3回目) (大河原地方振興事務所)
- 丸森町産たけのこ出荷等に関する打合せ (大河原地方振興事務所)
- 木桶に使用する材料確保に向けて (北部地方振興事務所)
- 新たな森林経営計画策定(属人計画)に向けた支援 (北部地方振興事務所)
- 伴走型支援対象市町における進捗状況確認打合せ (東部地方振興事務所)
- 愛鳥モデル校推進活動(巣箱づくり)の支援 (東部地方振興事務所)
- 東北地方林業成長産業化地域サミット開催支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 南三陸森林管理協議会主催によるFSC全体教育訓練大会の開催 (気仙沼地方振興事務所)
- 宮城県林業研究会連絡協議会令和6年度第4回役員会の開催(林業技術総合センター)

## 森林経営管理制度に係る圏域推進会議の開催

大河原地方振興事務所

【24日(金)】

森林経営管理制度や森林環境譲与税を活用した森林整備の推進に向けて、管内市町の担当課長を参集し、大河原圏域推進会議を開催しました。

制度の概要、伴走支援、所有者不明探索等について当所及び市町村森林経営管理サポートセンターから説明を行うとともに、各市町から取組状況や計画について報告を受けました。また、今後の取組を推進するため、各市町で挙げられた課題等について、意見交換を行いました。

各市町の進捗状況や方針についての情報共有が図られたほか、それぞれが抱える悩みや疑問等に対する意見交換を行ったことを踏まえ、今後の取組方針や支援方法についての検討を進めるとともに、引き続き、各市町の進捗状況を確認しながら、経営管理制度実施の推進に向けて支援してまいります。



【会議の様子】

## R6市町村伴走支援(3回目)

大河原地方振興事務所

【29日(水)】

白石市が経営管理権集積計画を作成した箇所について、今後の森林整備事業の発注に向けて、現地調査の方法について支援が行われ、境界確認及びプロット調査の仕方について、市町村森林経営管理サポートセンターより指導がありました。

今回の調査を踏まえて令和7年度に森林整備の発注を進めることになりました。

引き続き、進捗状況を確認しながら、関係機関と連携を図りながら継続して指導助言を行っていきます。



【境界確認の様子】

## 丸森町産たけのこ出荷等に関する打合せ

大河原地方振興事務所

【31日(金)】

次期シーズンのたけのこの出荷に向け、昨シーズンの課題等に対する改善点やデータ取りまとめ等について進捗状況を確認するとともに、今後の進め方について丸森町と打ち合わせを行いました。

出荷報告等データの取りまとめについては、事務所から提供したツールを活用していただくことで生産者ごとの書類を整えることができたほか、各検査所におけるオペレーション等については、来月、関係者立ち合いのもと、現地打ち合わせを行うこととしました。

引き続き、町や生産者等と連携しながら、安全・安心で美味しいたけのこを皆さんにお届けできるよう取り組んでいきたいと思いません。



【打合せの様子】

## 木桶に使用する材料確保に向けて

北部地方振興事務所

【14日(火)】

木桶に使用する材料確保を進めている東部地方振興事務所管内の木工業者とともに、大崎市岩出山地区の製材所を訪問しました。

必要な材は、木桶にした際の割れや狂いが生じにくい天然乾燥材とのことで、該当する物がある製材所を紹介しました。

それぞれの事業者が行っている取り組み等を説明した後、木桶に係る事業展開等の意見交換が熱心に行われ、両者の今後の連携・協力が期待されました。



【天然乾燥材と在庫の確認状況】

## 新たな森林経営計画策定（属人計画）に向けた支援

北部地方振興事務所

【21日(火)】

森林経営計画（区域計画）の認定を受け、計画的な森林整備を進めている森林組合から「新規に属人計画を策定したい。」との相談があり、必要な支援を行いました。

新たな計画を立てるためには、森林組合所有林だけでなく、個別の森林所有者から経営委託を受けた対象森林を全て計画に組み込む必要がありました。

しかし、認定に係る間伐の下限值が上がり、計画達成が困難になることが想定され



【計画策定に向けた打合せの状況】

ました。

このため、取り交わしている森林経営委託書の期間の見直しや実行が確実に見込まれる施業を計画すること等を行って、森林経営計画認定に向け内容を精査していくこととなりました。

## 伴走型支援対象市町における進捗状況確認打合せ

東部地方振興事務所

【15日(水)】

森林経営管理制度推進のため、森林所有者の確認と集積計画の精査を行ってきた2地区のうち1地区について、森林整備事業の発注が行われたことを受け、今後の進捗管理や課題について打合せを行いました。

発注した森林整備事業を年度内に完了させるため、進捗管理を確認し、もう一方の地区についても集積計画の策定に向けた支援を行っていくこととしています。



【打合せの様子】

## 愛鳥モデル校推進活動（巣箱づくり）の支援

東部地方振興事務所

【29日(水)】

愛鳥保護意識の啓発を目的として県で進めている「愛鳥モデル推進校活動」において、東松島市立鳴瀬桜華小学校環境委員会に所属する5、6年生が、石巻地域産スギ材を使用した巣箱づくり体験を行いました。宮城北部流域森林・林業活性化センター石巻支部から材料を提供いただき、当日は県職員（普及員含む）と石巻地区森林組合職員が製作補助を行いました。

子どもたちは初めての作業に苦戦しながらも、協力しながら巣箱づくりを進め、時間内に8個の巣箱を完成させることができました。また、完成したセキレイ、スズメ及びヒガラ用の巣箱を眺めながら野鳥の生態についての説明を行ったことで、子どもたちが野生動物や森林について考える機会を創出することができました。

地域産材を活用した森林教育の取組を引き続き支援していきます。



【釘打ちは難しいなあ】

## 東北地方林業成長産業化地域サミット 開催支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【14(火), 21日(火)】

林業成長産業化地域構想に基づき補助事業を活用して地域林業の振興に取り組んだ東北地域の事業実施者が集まるサミットの開催を支援しました。各地域の現状や課題等の情報を共有し、今後の取組を検討する場であり、情報収集も兼ねることができました。

登米地域に加え、東北3地域(秋田県大館市、山形県金山町、福島県南会津町)から参加があり、東京大学の白石名誉教授から「地域で望ましい林業の姿を描いてみよう」と題して基調講演が行われ、その後、パネルディスカッションが行われました。ディスカッションでは、「担い手の確保」、「森林経営管理制度への取組状況」、「多様な森林利用」等、さまざまな角度から地域林業振興に関する意見交換が行われ、有意義な情報交換を行うことができました。



【基調講演の様子】



【パネルディスカッションの様子】

## 南三陸森林管理協議会主催によるFSC 全体教育訓練大会の開催

気仙沼地方振興事務所

【12日(日)】

南三陸森林管理協議会(以下「協議会」)は、持続可能な森林活用・保全を目的として誕生した国際的な森林認証制度「FSC認証」を県内で初めて取得した団体です。

本協議会では、会員間の情報共有を兼ねて年に一度、会員及び関係者を一同に介して、活動報告や情報共有を兼ねた「FSC全体教育訓練大会(以下「教育大会」)」が開催されており、当所ではアドバイザーとして参画しています。

今回はその教育大会の内容についてご紹介します。



【救命救急講習】

近年、宮城県内では林業に関する死亡事故等が多発していることを考慮し、当日は事故事例を中心とした「チェーンソー、重機作業の労働災害原因及び対策に関する講演」及び、もしも事故にあった場合の応急対策として「救命救急講習」を実施しています。

参加者からは、安全衛生に関する基本知識や、事故事例から学ぶ災害防止対策について、講師に対して活発な質問が寄せられるなど、労働災害防止に向けた意識の醸成と共有が図られ、大変有意義な教育大会となりました。なお、毎年度、参加者には安全装具の贈呈も併せて行われています。



【安全装具の贈呈式】

## 宮城県林業研究会連絡協議会令和6年度第4回役員会の開催

林業技術総合センター

【10日(金)】

役員9名が、仙台市南光台市民センター第4会議室に集い、2月7日(金)に開催される予定の宮城県林業研究会連絡協議会令和7年第69回通常総会の総会資料及び議事について打合せが行われました。また、令和6年度事業決算に係る会計監査が実施され、経理が正確であることが確認されました。

県は、林業技術と集団活動方法の習得研鑽を目的とする、当該団体を支援しています。



【議論を交わす役員の面々】